

# 学習課題(小学校6年生)

## 【社会】



<学習内容> 「武士の世の中へ」

ことば(教科書P45)

◆教科書 44～55 ページをもとに、武士のくらしや政治について取組シートやノートにまとめよう。

(1) 教科書 45 ページを参考に、下の ( ) に言葉を入れて、武士についてまとめてみよう。

- ① 貴族が、都ではなやかなくらしをしていたころ、地方の有力な ( ) は、新たに田畑を開いて自分の ( ) としました。
- ② 都から地方に派遣された役人の中には、その立場を利用して ( ) をたくわえる者もいました。
- ⇒これらの ( ) は、( ) を守るために ( ) にはげみ、武士となりました。

貴族のくらしと比べてみよう!

(2) 教科書 44 ページの資料④「武士のやかたの様子」を見て、武士がどのようなくらしをしていたのかを考えて、まとめよう。

※教科書 45 ページの本文も参考にしてみよう。

(3) 武士の中でも平氏と源氏が強い力を持ち、源平の戦いの後に、源氏が平氏をほろぼし、源頼朝が鎌倉幕府を開きました。教科書 46～51 ページを参考に、平氏と源氏の政治のしくみについて、下の表にまとめよう。

平 氏	源平の戦い	源 氏
( )	中心人物	( ) と ( )
・ ( ) を天皇のきさきにして生まれた子を ( ) に立てる。 ・ 平氏一族が ( ) の中でも重い役についた。	政治の行い方	・ 家来となった武士を地方の ( ) や ( ) につけた。 ・ 頼朝は、武士のかしらとして朝廷から ( ) に任じられた。

ことば(教科書P51)

ことば(教科書P48)

(4) 鎌倉幕府と武士たちの関係を「ご恩と奉公」の関係と言います。教科書 51 ページを参考に、その関係の図を書いてみよう。

(5) 1274 年と 1281 年に 2 回、元の大軍が九州に攻めてきたことを元寇<sup>げんこう</sup>と言います。この元寇によって、「ご恩と奉公」の関係がくずれていきました。教科書 52～53 ページをもとに、その理由を考えてみよう。

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

- ・「貴族」に代わって「武士」の政治が始まります。前の単元の「貴族」と比べることで、くらしや政治の違いに気付き、時代の移り変わりを実感できます。また、「領地」を中心に成り立っていた「ご恩と奉公」の関係をしっかりと捉えておくことがとても重要です。